

# 令和3年度 学校評価のまとめ

令和3年12月 調査

## 1 調査対象

生徒 1年次生 (回答者数132名) 2年次生 (回答者数152名) 3年次生 (回答者数136名)  
 保護者 1年次 (回答者数126名) 2年次 (回答者数144名) 3年次 (回答者数104名)  
 職員 (回答者数50名)

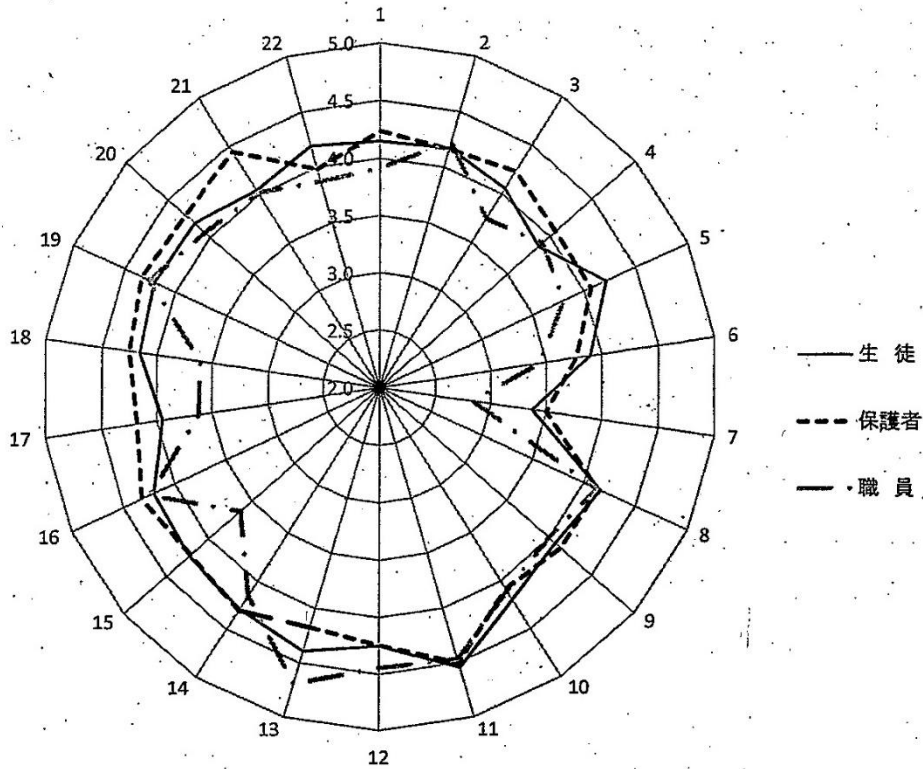
評価 ; 「 1 : わからない 2 : そう思わない 3 : あまり思わない 4 : すこし思う 5 : そう思う 」

## 2 項目毎の比較 (生徒・保護者・職員)

質問項目 (生徒)	生徒			保護者			職員		
	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度	R2年度	R3年度
1 私は、飾磨工業高等学校の生徒として、自信と誇りを持っている。	4.2	4.0	4.1	4.3	4.2	4.2	3.7	3.8	3.9
2 私たちにとって学校行事は、充実したものである。	4.4	4.0	4.2	4.4	4.2	4.2	4.4	4.1	4.2
3 選択科目は、興味・関心・適性・進路に応じて選べるようになっている。	4.1	4.0	4.1	4.3	4.2	4.2	4.0	3.7	3.7
4 分かりやすく充実した授業が多い。	4.0	3.8	3.9	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9
5 基礎的な学力や技術・技能が向上した。	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	3.6	3.8	3.8
6 家庭で学校のことをよく話す。また、連絡(プリント等)は必ず伝える。	4.0	3.8	3.9	3.9	3.8	3.8	3.2	3.4	3.4
7 私は、予習・復習・課題など家庭学習をよくやっている。	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	2.8	3.0	2.8
8 進路指導では、十分な情報提供が行われている。	4.4	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	3.9	4.3	4.1
9 進路実現に向けて、補習や模擬試験などの実施状況は適切である。	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	4.0	4.0
10 生徒指導の方針が、明確に示されており、生徒としてそれを理解し守っている。	4.4	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1
11 学校では、生徒が基本的な生活習慣 (遅刻・身だしなみ等) を身に付けるように適切な指導を行っている。	4.6	4.3	4.5	4.6	4.5	4.5	4.6	4.0	4.5
12 部活動は活発で充実している。	4.5	4.3	4.3	4.4	4.4	4.2	4.7	4.6	4.4
13 生徒会活動は、活発である。	4.5	4.3	4.4	4.2	4.3	4.2	4.6	4.6	4.7
14 先生は、生徒の自立のために熱意を持って頑張っている。	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.1	4.0	4.2
15 先生は、お互いに連携して教育活動に当たっている。	4.3	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	3.7	3.8	3.6
16 学校は、私たちにとって、安全で安心して学習できる環境である。	4.3	4.1	4.2	4.3	4.2	4.3	4.0	4.1	4.2
17 学校は清掃がなされ、校内美化が保たれている。	4.2	4.0	3.9	4.3	4.2	4.2	3.4	3.8	3.6
18 学校の施設・設備は、授業や学校生活がしやすいように整備されている。	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	3.3	3.6	3.6
19 学校は、私たちの健康・安全に関する指導を十分に行っている。	4.4	4.1	4.2	4.4	4.2	4.3	4.4	4.2	4.3
20 学校は、地域や企業と連携に努力している。	4.4	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.4	4.0	4.1

## 対象別項目

質問項目 (生徒)	生徒			保護者			職員		
	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度	R2年度	R3年度
21 私は、飾磨工業高校に入学してよかったと思う。	4.2	4.0	4.0				-		
22 私の学校生活は、楽しく充実したものである。	4.3	4.1	4.2				-		
21 子供 (生徒) を飾磨工業高校に入学させてよかったと思う。				4.5	4.5	4.4	-		
22 保護者として、学校の教育活動に協力できている。				3.8	3.9	4.0	-		
21 本校に勤務することに、誇りと充実感がある。							3.6	4.0	4.0
22 生徒は飾磨工業高校に入学してよかったと思っている。							3.8	3.8	3.9



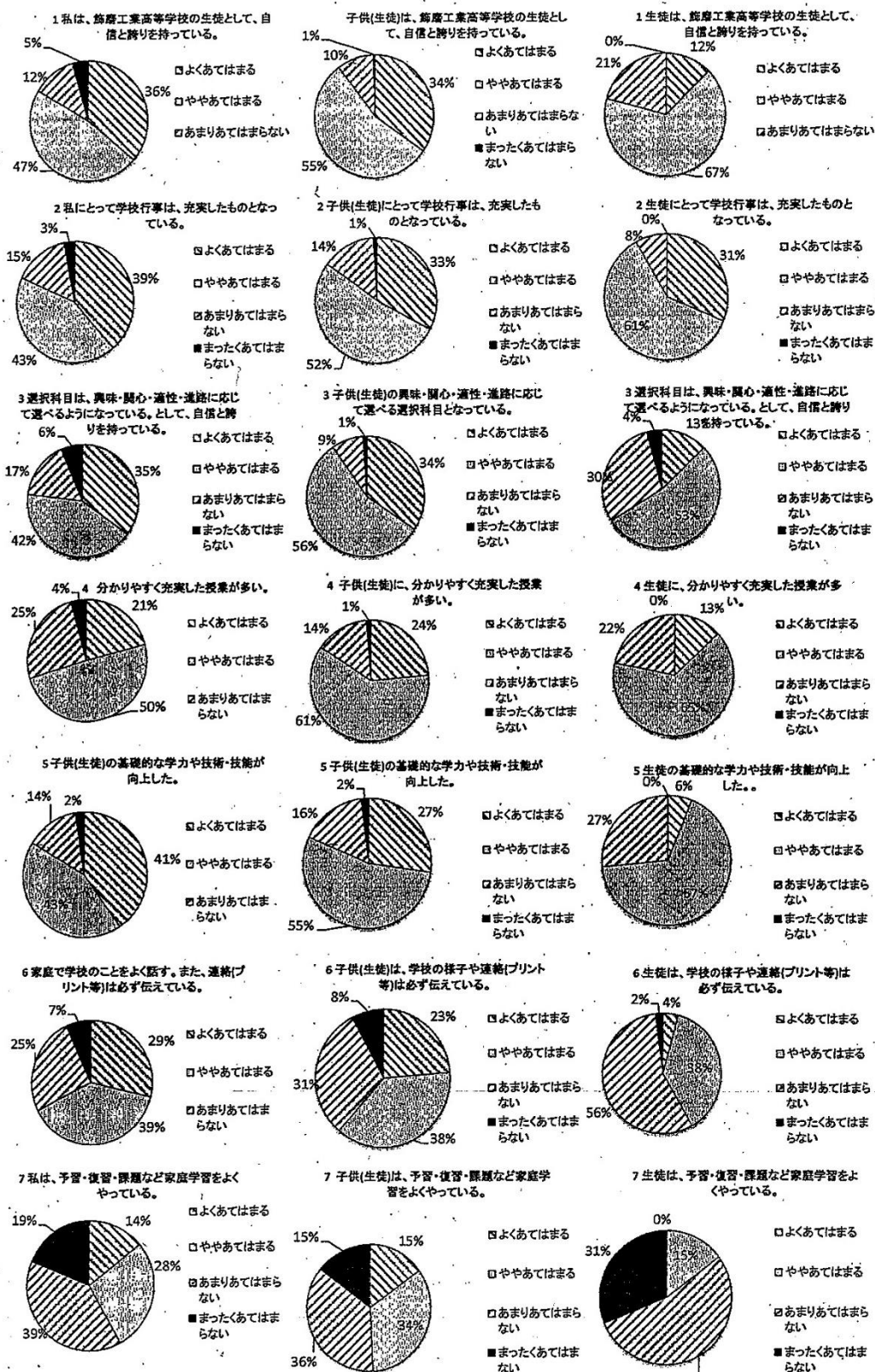
共通項目

- 1 私は、飾磨工業高等学校の生徒として、自信と誇りを持っている。
- 2 私たちにとって学校行事は、充実したものとなっている。
- 3 選択科目は、興味・関心・適性・進路に応じて選べるようになっている。
- 4 分かりやすく充実した授業が多い。
- 5 基礎的な学力や技術・技能が向上した。
- 6 家庭で学校のことをよく話す。また、連絡(プリント等)は必ず伝える。
- 7 私は、予習・復習・課題など家庭学習をよくやっている。
- 8 進路指導では、十分な情報提供が行われている。
- 9 進路実現に向けて、補習や模擬試験などの実施状況は適切である。
- 10 生徒指導の方針が、明確に示されており、生徒としてそれを理解し守っている。  
学校では、生徒が基本的な生活習慣(遅刻・身だしなみ等)を身に付けるように適切な指導を行っている。
- 11 部活動は活発で充実している。
- 12 生徒会活動は、活発である。
- 13 先生は、生徒の自立のために熱意を持って頑張っている。
- 14 先生は、お互いに連携して教育活動に当たっている。
- 15 学校は、私たちにとって、安全で安心して学習できる環境である。
- 16 学校は清掃がなされ、校内美化が保たれている。
- 17 学校の施設・設備は、授業や学校生活がしやすいように整備されている。
- 18 学校は、私たちの健康・安全に関する指導を十分に行っている。
- 19 学校は、地域や企業と連携に努力している。

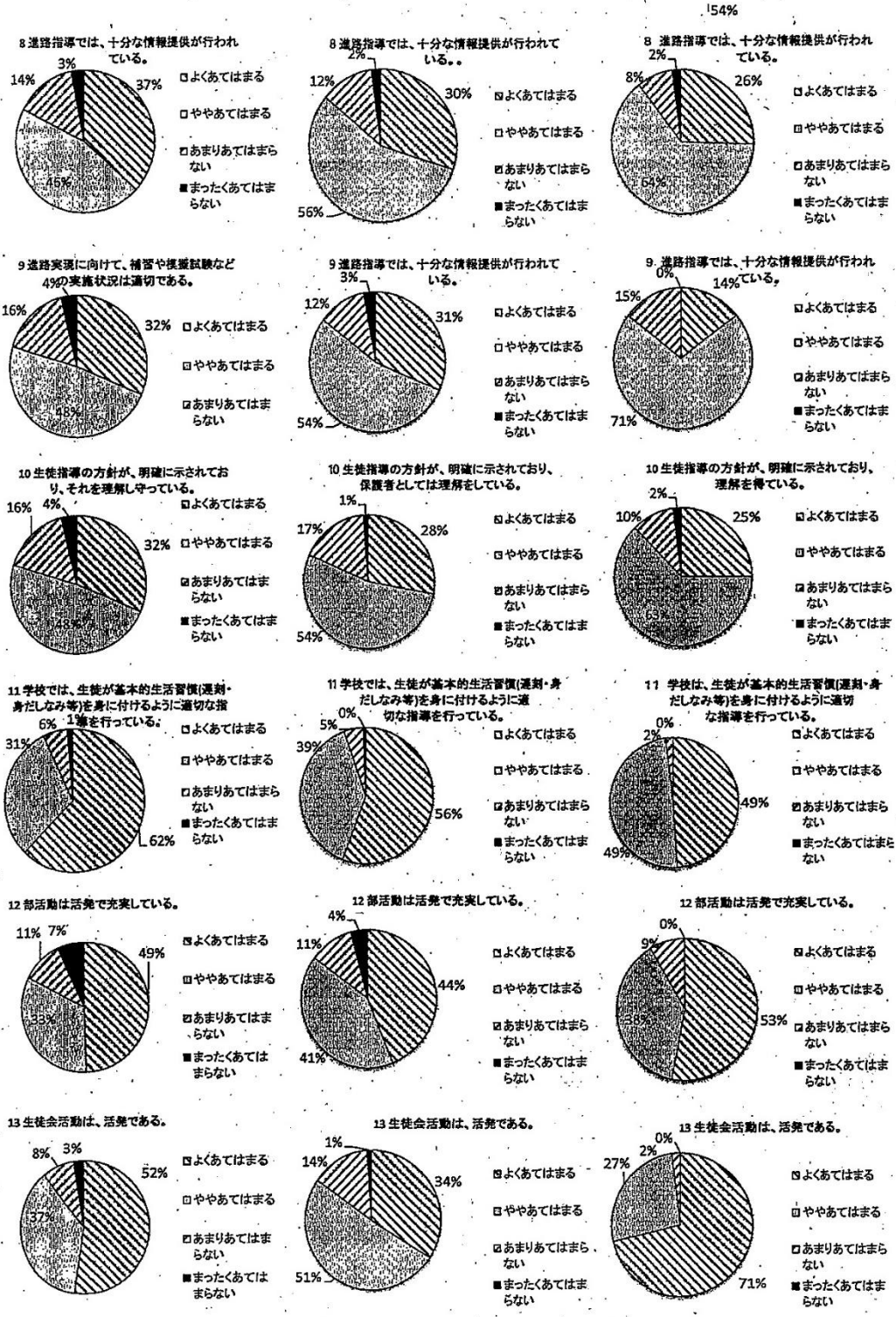
対象別項目

- |     |                                |
|-----|--------------------------------|
| 生徒  | 21 私は、飾磨工業高校に入学してよかったと思う。      |
|     | 22 私の学校生活は、楽しく充実したものである。       |
| 保護者 | 21 子供(生徒)を飾磨工業高校に入学させてよかったと思う。 |
|     | 22 保護者として、学校の教育活動に協力できている。     |
| 職員  | 21 生徒は飾磨工業高校に入学してよかったと思っている。   |
|     | 22 本校に勤務することに、誇りと充実感がある。       |

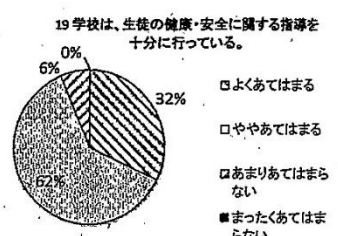
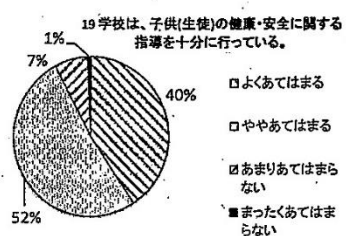
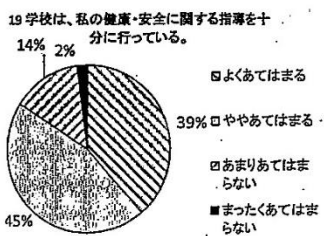
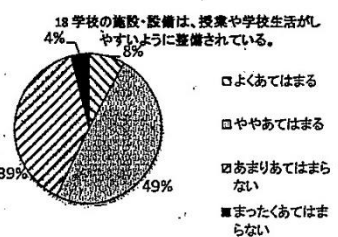
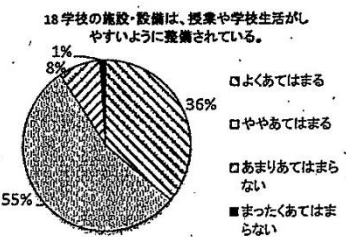
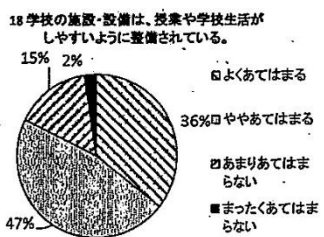
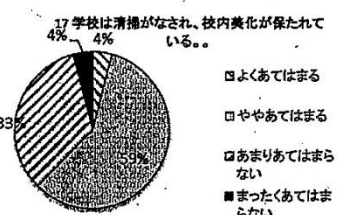
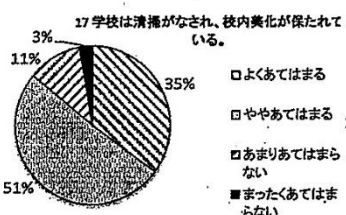
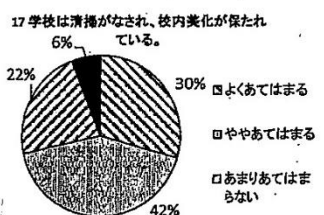
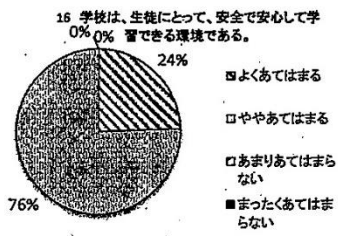
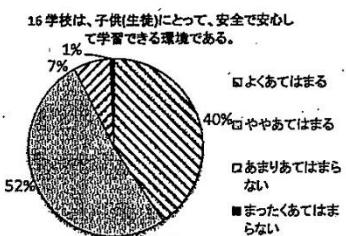
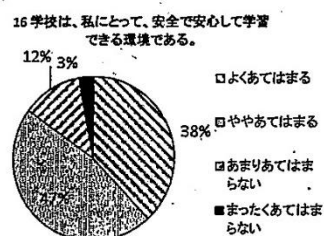
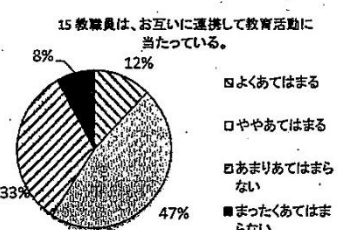
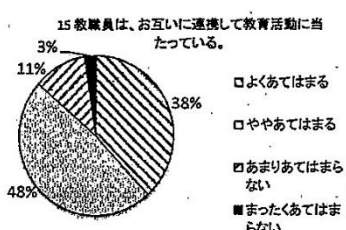
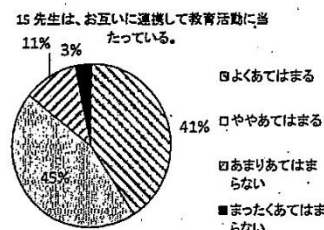
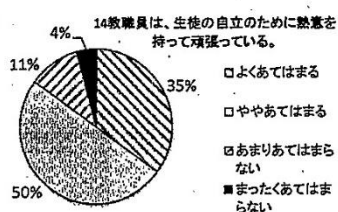
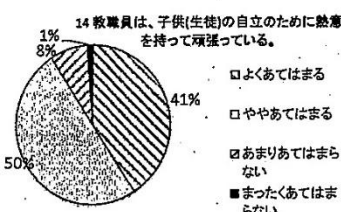
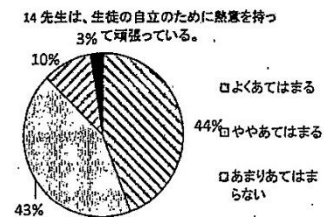
各項目の割合(1)



各項目の割合(2)

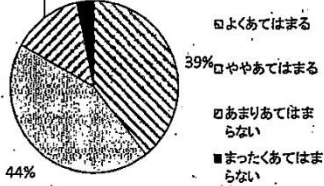


各項目の割合(3)

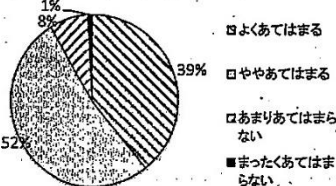


各項目の割合(4)

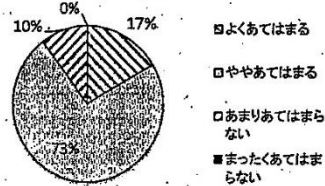
20 学校は、地域や企業と連携し、特色ある学校づくりに努力している。



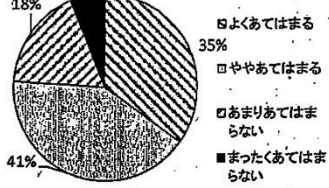
20 学校は、地域や企業と連携し、特色ある学校づくりに努力している。



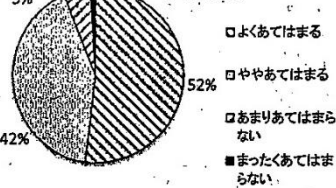
20 学校は、地域や企業と連携し、特色ある学校づくりに努力している。



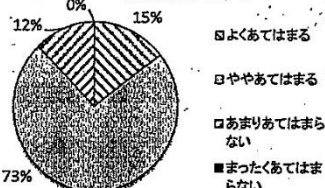
21 私は、飾磨工業高校に入学してよかったと思っている。



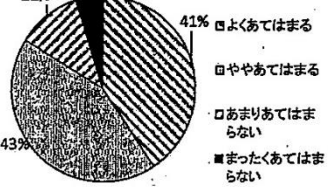
21 子供(生徒)を飾磨工業高校に入学させてよかったと思う。



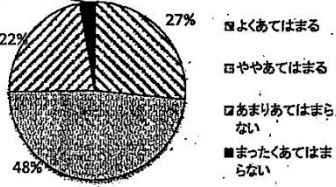
21 生徒は、飾磨工業高校に入学してよかったと思っている。



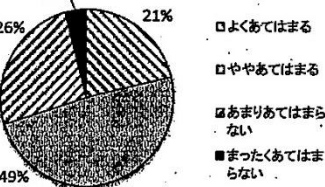
22 私の学校生活は、楽しく充実したものである。



22 保護者として、学校の教育活動に協力できている。



22 本校に勤務することにより、誇りと充実感がある。



## 令和3年度「学校自己評価」シート 全日制

- 1 教育目標 自主創造、礼儀親和、勤勉誠実の校訓のもと、社会で自立し、社会に貢献できる人間を育てる。
- 2 重点課題 以下の6点が「できる」生徒を本校の「目指す生徒像」として育成に取り組む。
- ・当たり前前の方が当たり前前ができる。
  - ・自分と他人を大切にできる。
  - ・自分をコントロールできる。
  - ・人を愛することができる。
  - ・職場で活躍できる。
  - ・人生を充実できる。
- 3 重点項目 「目指す生徒像」を育成するために、「知・徳・体」の観点で、各分掌の特性を生かした取組を行う。

「知」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力</li> <li>・社会人基礎力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門知識と技能</li> <li>・防災に関する知識と技能</li> </ul>
「徳」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめを許さない姿勢</li> <li>・ボランティア精神</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識</li> <li>・コミュニケーション能力</li> </ul>
「体」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育</li> <li>・基礎体力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全教育</li> <li>・運動能力</li> </ul>

### 4 重点項目及び評価項目、評価指標

重点項目	評価項目	評価指標	評価		
知	基礎学力 (確かな学力)	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定対策の学習や検定取得などを通して語彙力の向上を図る</li> <li>・学校図書館の利用を促し、読書活動の推進を図る</li> </ul>	4 3	
		地理・歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読み取る活動や、話し合い活動を取り入れるなど生徒同士の学びあいの機会を充実させる</li> <li>・今日的な課題について様々な視点から理解を深め、社会人としての基礎的な教養を身につけさせたいうえで、情報活用能力や表現力を高めさせる</li> </ul>	4 4	
		数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物の提出期限を守らし、たとえ遅れても確実に全員提出させる</li> <li>・基礎的な計算や法則性を身につけさせ、定期考査において全生徒に30点以上をとらせる</li> </ul>	4 4	
		理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を定着させ科学的思考力を養う</li> <li>・専門科との連携を密にし、資格試験に向けて補助的役割を果たす</li> </ul>	4 4	
		保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節生工として基本的な立ち居振る舞いを身に付けさせる</li> <li>・部活動の活性化を図る</li> </ul>	5・・・おおむね満足 4・・・やや満足	
		芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作の目的を明確にして取り組ませることで、主体的に制作に取り組む態度を養う。</li> <li>・他者の作品を鑑賞することを通じて多様な美を感受する機会を増やし、美的感覚を高めさせる。</li> </ul>	3・・・あまり満足していない 2・・・満足していない	
		外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を通じて様々な文章に触れ、豊かな感受性を育む</li> <li>・英語を読んだり、聞いたりすることで第二言語として使えることを目指す</li> </ul>	4 3	
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今すぐに実践できる基本的な知識と技術をも身につけ自立した生活をおくる</li> <li>・自分の将来を主体的にみつめ社会に貢献できる力を身につけさせる</li> </ul>	5 5	
		専門性 (確かな学力)	機 械 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上と専門知識を習得させる</li> <li>・デジタル化対応の機器導入と教材開発の推進</li> </ul>	5 5
			電気情報 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二種電気工事士資格およびその他の各種資格に自ら挑戦し、成長する意欲・意欲のある生徒の育成をする</li> <li>・ものづくりコンテストや技能検定への挑戦を機に、基礎的技術・技能の習得および活用力の向上を図り、社会に貢献できる生徒の育成をする</li> </ul>	4 4
エネルギー 環境工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー対策や環境問題に取り組めるような基礎学力の向上と専門知識を習得させる</li> <li>・生徒の進路意識を高め、全員でチャレンジする検定に対して科全体で取り組み、次への資格取得へとつなげる</li> </ul>		4 4		

□ は、生徒の様子から判断 □ は、職員集団として判断

重点項目	目標とする指標及び目標達成状況	評価面・指標	評価	
知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な学習習慣を確立し、家庭学習にも取り組んでいる</li> <li>・自己の能力・適性や興味・関心、進路希望を踏まえ、学校生活を送っている</li> <li>・授業に積極的に参加している</li> <li>・実習を通じ、ものづくりの楽しさを知り、資格取得に取り組み等、技能・技術を身につける努力をしている</li> </ul>	5・・・おおむね満足 4・・・やや満足 3・・・あまり満足していない 2・・・満足していない 1・・・評価できない	3.7	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の生活実態を把握し、自主的な学習習慣の確立を図り、学力向上、資格取得に取り組んでいる</li> <li>・目標を明確にし、探究活動を取り入れ、授業改善に取り組む</li> <li>・各教科・科目の特質に応じた生徒の言語活動を充実させる</li> <li>・各教科・科目の特質に応じてICTの活用、情報モラルに関する指導を行う</li> <li>・実習を通じものづくりの楽しさを知り技能・技術を身につけさせる</li> </ul>		3.8	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣が身につけている</li> <li>・活力のある学校生活を送っている</li> <li>・自らの将来への資格検定取得に意欲的である</li> <li>・時事問題に興味をもっている</li> </ul>		3.8	
防災教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校防災マニュアルの周知と徹底を図る</li> <li>・地域や専門機関等を巻き込んだ避難訓練または防災訓練を実施し、防災意識を高める</li> <li>・防災教育実践本「明日は生かす」を活用した授業を実施する</li> </ul>			
徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールやマナーを守って、集団生活を送っている</li> <li>・時間を守って（5分前完了）行動できる</li> <li>・礼儀正しくあいさつができる</li> <li>・思いやりのある言葉遣い（丁寧語、尊敬語）ができる</li> <li>・学校生活で各個人の役割を果たし、他者を尊重する心をもつ</li> <li>・クラス、部活動等所属での良好な関係構築を築いている</li> <li>・「いじめのない学校生活」に向けて公平公正な態度がとれる</li> </ul>	5・・・おおむね満足 4・・・やや満足 3・・・あまり満足していない 2・・・満足していない 1・・・評価できない	4.2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめのない学校生活に向けて公平公正な態度がとれる</li> <li>・いじめのない学校生活に向けて公平公正な態度がとれる</li> <li>・いじめのない学校生活に向けて公平公正な態度がとれる</li> <li>・いじめのない学校生活に向けて公平公正な態度がとれる</li> <li>・いじめのない学校生活に向けて公平公正な態度がとれる</li> </ul>		4.1	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺や近隣の市の実施する清掃ボランティアに参加している</li> <li>・遠隔学校の学校行事や近隣の幼・小・中学校のイベントに運営スタッフとして参加する</li> </ul>		3.3	
	ボランティア精神		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺や近隣の市の実施する清掃ボランティアに参加している</li> <li>・遠隔学校の学校行事や近隣の幼・小・中学校のイベントに運営スタッフとして参加する</li> </ul>	3.3
	コミュニケーション能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや入室のマナーを徹底させる</li> <li>・インターンシップ等校外行事で言葉遣いやマナーを適切に使いこなせる</li> <li>・入社試験に向けて、面接練習へ積極的に参加している</li> </ul>	4.4
体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用防止について関心をもっている</li> <li>・性に関する科学的な知識に関心をもっている</li> <li>・感染症やアレルギー疾患に関して関心をもっている</li> <li>・食に関する知識に関心をもっている</li> </ul>	5・・・おおむね満足 4・・・やや満足 3・・・あまり満足していない 2・・・満足していない 1・・・評価できない	3.9	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用防止について関心をもっている</li> <li>・性に関する科学的な知識に関心をもっている</li> <li>・感染症やアレルギー疾患に関して関心をもっている</li> <li>・食に関する知識に関心をもっている</li> </ul>		4.0	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全について、ルールを理解し、登下校に活かしている</li> <li>・実技を伴う科目の始業時に安全点検を必ず実施している</li> <li>・部活動終了後の身体のケアに努め、ノー部活デーを活用している</li> </ul>		3.9	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全について関心をもっている</li> <li>・実技を伴う科目の始業時に安全点検を必ず実施している</li> <li>・交通安全について関心をもっている</li> <li>・交通安全について関心をもっている</li> </ul>		3.9	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全について関心をもっている</li> <li>・交通安全について関心をもっている</li> <li>・交通安全について関心をもっている</li> <li>・交通安全について関心をもっている</li> </ul>		3.9	
基礎体力 運動能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホやゲームに費やす時間を制限している</li> <li>・運動部に入部している</li> <li>・生徒と教職員がともに身体を動かす機会を創出する</li> <li>・全生徒が健康診断を受ける</li> <li>・健康大会を学期ごとに行う</li> <li>・運動部入部率を85%（現状）以上目指している</li> </ul>	3.3		
			4.0	



5 各部・科・年次の重点目標と具体的取組

総務部

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 非常事態宣言などによる行事の変更によりしっかりと対応する 2 校務運営委員会や職員会議の議題を整理してできる限り短時間で終わるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部や科、学年及び多部署とも連携をとって行事がスムーズに行えるようにする。</li> <li>口頭で済むだけの報告は、できる限り省略し、毎週の連絡会に回してもらう。各委員会開催の報告は省略してもらい、開催後の結果を報告してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できる限り、行事変更など各部、各科との連携をとるようにした。コロナの影響や多部署の変更で次年度の予定等が立てにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もしもの時を考え、対応を考える。多部署の総務部とよく連携をとる。</li> <li>全日と多部署の共通行事が、単独かを考えて物事を進める。</li> </ul>

教務部

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 新教育課程の構築と各種行事の変更に対する柔軟な対応 2 教務支援システムの活用を推進し本校に合わせたモデル	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度入学生(新課程)の教育課程の構築と実用に向けた各作業(申請、届など)。</li> <li>令和5年度入学生の教育課程での特色づくりと工夫を検討する。</li> <li>システム運用を安定化させ、問題点をリストアップし対策を立てる。</li> <li>本校の実情に合わせた使い方を確立する。</li> <li>システム運用における進路指導部、保健部との業務の分化を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度入学生の教育課程の構築と実用に向けた作業を完了した。</li> <li>令和5年度入学生の教育課程は検討中である。</li> <li>システム運用の問題点は一つずつ対策した。</li> <li>進路指導部、保健部との業務の分化を推進中である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、令和5年度入学生の教育課程を検討する。</li> <li>システム運用の問題点は、出てくれば、随時対策を立てる。</li> <li>引き続き、進路指導部、保健部と検討する。</li> </ul>

生徒指導部

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 特別指導件数を昨年度より減少させる 2 生徒会活動を昨年度より充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>期の職員連絡会において、共通理解のもと、全職員で生徒指導を行えるように、指導内容を確認する。</li> <li>生徒の規範意識を高めるよう、様々な機会を利用する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、行事の計画・運営などを生徒会とクラス役員を中心に取り組ませ、生徒の自主性自立意識を高める。</li> <li>校内美化活動を中心に積極的にボランティア活動に取り組みさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の規範意識を高めるよう動きかけた結果、昨年度より特別指導件数は、減少した。</li> <li>コロナウイルス感染症対策を行いながら出来る範囲で生徒会を中心に行事に取り組みさせることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度も継続し、より特別指導件数の数を減らし、ゼロにしたい。</li> <li>コロナ感染症が続く中、今年度より充実した学校行事となるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>

進路指導部

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 進路意識の高揚 2 就職・進学指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路調査や進路相談等を通して生徒の適性や能力の把握に努め、進路に対する意識を高める。</li> <li>「キャリアパスポート」の要素を「キャリアノート」の改定に反映させる。</li> <li>進路先との面談を通して求める人材や能力を把握し、年次や生徒に情報を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度より分掌の構成員数が1部となり、その上1名が年次付きの仕事に兼任となったが、学年ごとの補遺しでもでき向かてなすことができた。</li> <li>県からの高校生版キャリアパスポートの例示がある予定だったが、なかった。ギリギリまで今年度のキャリアノートの作成を持ったので、後期からの使用になってしまった。</li> <li>面談は年次が生徒をリードしてやってくれた分、進路指導部としては情報提供を中心に運営できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の流れを文初頭に落とし、時期ややるべき内容を整理する。</li> <li>今年度のキャリアノートを年次と省みて、キャリアノートのさらなる進化を目指す。</li> <li>来年度は業者による求人票のデータベース化システムを今までのやり方と併用してより生徒・保護者に的確な情報提供を行う。</li> </ul>

情報部

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づきICT活用能力の向上を図る 2 情報モラルやネットリテラシーの育成と定着を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習と校務のクラウド化」「授業での活用事例の創出・共有」「教員の指導スキル向上」「授業や自宅学習での端末の活用促進」「コンテンツの充実」などICT活用能力の向上を図る。</li> <li>ネットワーク利用における情報モラルの向上を図り、ICTを適切・安全に使いこなすことができるように情報活用能力を各部署と連携し情報の共有を図り、育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台端末に向けて情報のクラウド化、環境整備、利活用促進、スキル向上、モラル向上を図った。課題として全体での利活用が進んでいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用環境(端末の配備)を進め利活用を促進する。さらに全体でのICT活用能力の促進・定着を進める。</li> </ul>

図書部

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 図書室の活性化を図る 2 蔵書をわかりやすく整理し、データ化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブ・ラーニングで生徒が主体的に調べ学習をするような雰囲気にする。探し物があれば、手伝えるようにする。</li> <li>生徒や先生からのリクエスト図書・書籍の購入を満席に行い、本の貸し出しの活性化を図る。</li> <li>蔵書の整理をし、データ化を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書委員を活用して、昼休み、放課後に会読した。年間3回に分けて、新しく書籍を購入して、図書の利用を促した。図書日より発行した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬になって利用が減少傾向にある。図書委員による図書室利用の勧誘などを考えていきたい。</li> </ul>

保健部

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 定期健康診断その他保健活動全体を通じて、健康と安全に関する意識を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健だよりの定期的な発行。保健委員による保健だよりの編集・配布活動の継続。</li> <li>11月に保健講演会を実施予定。</li> <li>熱中症及び救急救命法講習は、講師や飲料メーカーを招いての具体的な指導法を体験させる。部活動は、キャプテンを中心に実践指導を行う。</li> <li>コロナ予防の啓発DVDを保健委員の協力のもと作成し、予防意識の向上を図る。</li> </ul>	概ね、良好な成果であったように見える。	あらゆる分野での情報を集め、より良い取り組みを検討する。 継続的な施策については点検を怠らず、成果について分析を重ねる。
2 カウンセリングマインド研修を通して生徒の特性を把握し、効果的な指導・対処方法について、情報交換できる機会を設ける		外部講師を迎えてのカウンセリングマインド研修会では、活発な質問があり、具体的な対処方法が、発見でき、良い研修ができた。	
3 コロナ対応について保健委員も活用し、各部と連携を取って消毒を含めた感染予防対策を実施する			

1年次

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を守って行動する。</li> <li>挨拶や返事をしっかり行う。</li> <li>日々の生活から節工生としての自覚をさせる。</li> </ul>	入学当初と比べると、全般的に基本的な生活習慣は確立できていると感じるが、まだまだ期待するところまではしていない。	生徒への声掛けや、生活指導を策めに行う。コロナ禍の影響で行えていない行事があり進路意識が低い。タイミングをみて行事を入れる。
2 基礎的な学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業を大切にす。</li> <li>週末課題を適宜実施する。</li> <li>進路に関心を持たせる。</li> </ul>		

2年次

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 進路実現に向け主体的に動くことのできる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>手帳、メモの活用</li> <li>進路指導室の活用</li> <li>学校行事などで自ら責任をもって行動する習慣を身につけさせる。</li> </ul>	自ら課題を見出し主体的に行動する様子が見受けられるようになった。発表等を通じて表現力は少しづつついてきている。しかし場面場面では難しい。	主体的に動けるようにアプローチの仕方を工夫する。コミュニケーション能力については、ヒントを与えながら根気強く丁寧に指導していく。
2 コミュニケーション能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の考えをまとめ表現できる能力を、学校生活のあらゆる場面で指導する。</li> </ul>		

3年次

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 進路実現に向けて意識の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談を繰り返し行うことで、情報共有と共通理解を図る。また教員・生徒・保護者を連携を密にする。</li> <li>10年後、20年後の自分の姿を思い描いて、自ら進路を主体的に選択できるよう指導する。</li> <li>基本的なこと、できることを全力でやり切れるよう指導する</li> </ul>	情報共有を図りながら、教員・生徒・保護者を連携を密にできた。また、自ら進路を主体的に選択できるよう指導できた。	来年時にも引き継いでいけるよう、連携を密にしていく。
2 進路実現に向けて学力の向上を図る			

広報委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 学校のPR活動を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の活動の外部へPRする。</li> <li>PTA活動との連携</li> </ul>	年次や分掌からたものについてはホームページを通して閲覧できるようにした。	BYODも来年度から始まり、このように情報を発信していくか大きい検討課題である。

人権(道徳)・国際理解教育推進委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 生徒の人権意識の高揚をはかり、ボランティア活動等に積極的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次回と連携を密にし、ボランティア活動等を通して、人権意識の充実を図るよう努め、意識高揚を行う。人権ポスター等の掲示なども行い意識高揚・啓発に努める。</li> </ul>	人権ポスター等の掲示もを行い、情報の提供を行ったが、もう一つその成果は分らない。職員への校外人権研修会の参加を予定していたが、コロナ禍のために実現しなかった。	コロナ禍が克服されて、通常の活動ができるようになるのを待つしかない。多くの生徒がボランティア活動に参加できるように、その意識を訴えかけるようにする必要がある。
2 教員の人権意識の向上に努め、生徒の人権意識の高揚を図り、ボランティア活動等に積極的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年団、委員会、他部署との連携を図り、校外人権研修会等への積極的に参加し意識向上を図る。</li> </ul>		

資格取得委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 各種検定に挑戦することを通し、自信を持たせ、向上心、自主性を育む  2 進路結果、傾向を踏まえ、進路実現に向けた取り組みを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種検定への受験者数増を目指す。</li> <li>各種検定に向けた補習の充実や、家庭学習をはじめとする学習習慣の定着を図る。</li> </ul>	検定数、受験者数ともに増えてきている。生徒は、家庭学習の方法が分からないようである。	生徒に、家庭学習の方法など、やり方の分からないことを、アンケート等で調査、説明して改善策を練る必要がある。

学力向上推進委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 基礎学力の定着  2 授業を大切にすることを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来(卒業後の進路)を意図させた学習の取り組みを促す。</li> <li>授業への取り組み姿勢を生徒に考えさせ、具体的に準備からまとめをする姿勢まで、レポートの提出等を含め、各教科で生徒に大事にさせる。</li> </ul>	コロナ禍において、授業の継続は形の上ではできたが、公欠や出席停止でクラスの半数がいないような事態になった。	各教科においての対応だけでなく、学校全体としての取り組みを検討していく必要がある。

いじめ対応チーム

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 いじめ対策組織の構築と職員研修等を通じて、いじめ防止基本方針の周知徹底やいじめのない学校作りを推進する  2 アンケート調査等を行い、いじめの早期発見に努め、いじめのない安全で安心できる学校作りを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめを発見した教職員が問題を抱え込むことがないように、いじめ対策組織を中心とした情報体制を構築する。</li> <li>職員研修を通じていじめ防止基本方針を全職員に周知徹底し、いじめチェックシート等の活用を積極的に行う。</li> <li>アンケート調査を年間四回実施し、いじめの早期発見につなげる。また、いじめアンケート以外にも、「生活実態調査」も実施し、問題があれば、それをもとに丹念に聞き取りを行いながら、生徒達の実態を把握し、いじめのない学校を目指す。</li> </ul>	<p>大きないじめ事案はなかったが、いじめとして認知した件数が数件あり、現在解消に向けて指導中である。</p> <p>アンケートが大いに役立ち、いじめの早期発見に繋がった。</p>	<p>次年度も継続し、いじめのない学校作りを行って行きたい。</p> <p>アンケートが大いに役立ち、いじめの早期発見に繋がった。</p>

ふるさと貢献事業

①ものづくり地域交流・小学生ものづくり教室推進委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
学校施設を開放し、近隣地域の小学生にものづくりの楽しさを伝えるとともに、交流を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設を利用し、小学生ものづくり体験教室を開催し、ものづくりを通して地域の方と交流する。</li> </ul>	未実施	コロナウィルスの影響を見ながら、来年度の実施を模索する。

②ふれあい育児体験推進委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
充分な感染防止対策を実施したうえで、ふれあい育児体験を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前および事後の指導を徹底する。</li> <li>幼稚園、児童センターとの連携を図る。</li> </ul>	感染症対策を完全に行える状況ではなかったため中止した。	感染状況を踏まえて園との連携を密にし実施する。

③地域清掃活動推進委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
地域清掃奉仕活動を展開する	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校周辺の清掃活動を実施する。</li> <li>姫路城清掃活動に参加する。</li> </ul>	コロナ感染症対策のため中止となった。	地域清掃活動を積極的に行いたい。

④オープンハイスクール推進委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
中学3年生を対象に本校の実験・実習や部活動、施設・設備の見学を通し、工業教育を経て多様な進路選択を実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの状況と県の方針を踏まえた上で、全日制と多部制職員・生徒が一同となって協力し、見学希望者の要望に応えるよう工夫する。第1回の2日間実施分については、体験を中止し見学のみとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回及び第2回実施については、全日制と多部制で協力して見学のみとして実施した。</li> </ul>	コロナの状況に関わらず実施できるための工夫を考える。実施する2日間の参加者数の均等化を図る。

⑤ インターンシップ推進委員会

重点目標	具体的な取組	成果と課題	改善・向上の方策
1 コロナ禍の中にあ り、安全にイン ターンシップを受 け入れられる企業 を開拓し、確保し ていく	・コロナ感染者の増減を繰り返す中で、イ ンターンシップの受入を判断するのは困 難である。早期に受入が可能な企業を兼約 し、再度直前に受入が可能かどうかの確認 を行う。	インターンシップの受け入れをお願いす る中で、コロナ感染者増加する場面があ りました。受け入れが困難な中、専門学 校にも協力していただき、全員参加する ことが出来ました。	インターンシップ受入がなくなることを想定 し、その他、受け入れが可能な所を準備してお く。また、違った形での実施ができないか検討 する。
2 職業人として必要 な資質を身に付け させるとともに、 進路選択への積極 性を醸成する	・インターンシップを体験する中で、自然 と身につく面もあるが、体験先とのアポイ ントの取り方や、体験後の礼状や報告書の 書き方など、事前指導及び事後指導も丁寧 に行う。		

6 目標（最低到達）または、目標とする指標及び目標値は毎年見直す。